

最上町バイオマス産業都市構想の概要

山形県最上町、人口約1万人、面積約3.3万ha

構想の概要

町域内の間伐材等を燃料として利用したエネルギー創出により、町の医療・福祉・保健施設への地域熱供給システムを充実させ、さらに多様なバイオマスを活かした産業創出が、若者の定住を支える未来環境創造都市を目指す

1. 将来像

- ① 森林系バイオマスによる医療・福祉・保健施設等への地域熱供給システムのさらなる充実と、関連産業が発展し活気づく町
- ② 多様なバイオマス利用を契機として、関連産業が連携し、地域特性を活かした新しい産業が生まれる町
- ③ 環境にやさしく、安心、安全で若者の定住を支える町

3. 目標(10年後)

バイオマスの利用率

- ① 森林系バイオマス
林地残材:40%、建設発生木材等:100%(現時点で達成済)
- ② 農業系バイオマス
家畜排せつ物:100%、圃場残渣・出荷残渣:22%
- ③ 廃棄物系バイオマス
食品廃棄物:20%

5. 実施体制

- ・庁内に組織横断的な「最上町バイオマス産業都市推進委員会」を設置
- ・町の既存組織である「最上町政策推進会議」が構想の進捗状況を検証・評価
- ・事業化プロジェクト毎に推進体制を整備

2. 事業化プロジェクト

- ① 森林系バイオマス高度利用
 - ・間伐材等を収集・ストックし、チップ及びペレットの製造拠点整備
 - ・若者定住環境モデルタウン内に、地域熱供給システムを構築
 - ・木質バイオマス発電施設の整備
- ② 農業系バイオマス循環利用
 - ・もみ殻の固形燃料製造、家畜排せつ物や圃場残渣等を良質堆肥化、メタン発酵によるエネルギー利用
- ③ 廃棄物系バイオマス循環利用
 - ・汚泥・食品廃棄物等によるメタンガス発電

4. 地域波及効果

- ① 経済波及効果:1,379百万円(山形県産業関連表で試算)
- ② 雇用創出効果:23人
- ③ バイオマスエネルギーによる化石燃料代替量
 - ・電気:7000Mwh/年、熱:658TJ/年
- ④ 温室効果ガス排出削減量:32,357t-CO₂/年
- ⑤ 再生可能エネルギー供給源調達率向上
- ⑥ 観光交流人口20%増加、⑦ 町内小・中学校の体験学習

6. その他

- ・最上町スマートコミュニティ構想(H25)
- ・最上町第4次総合計画(H23)
- ・最上町環境基本計画(H17)

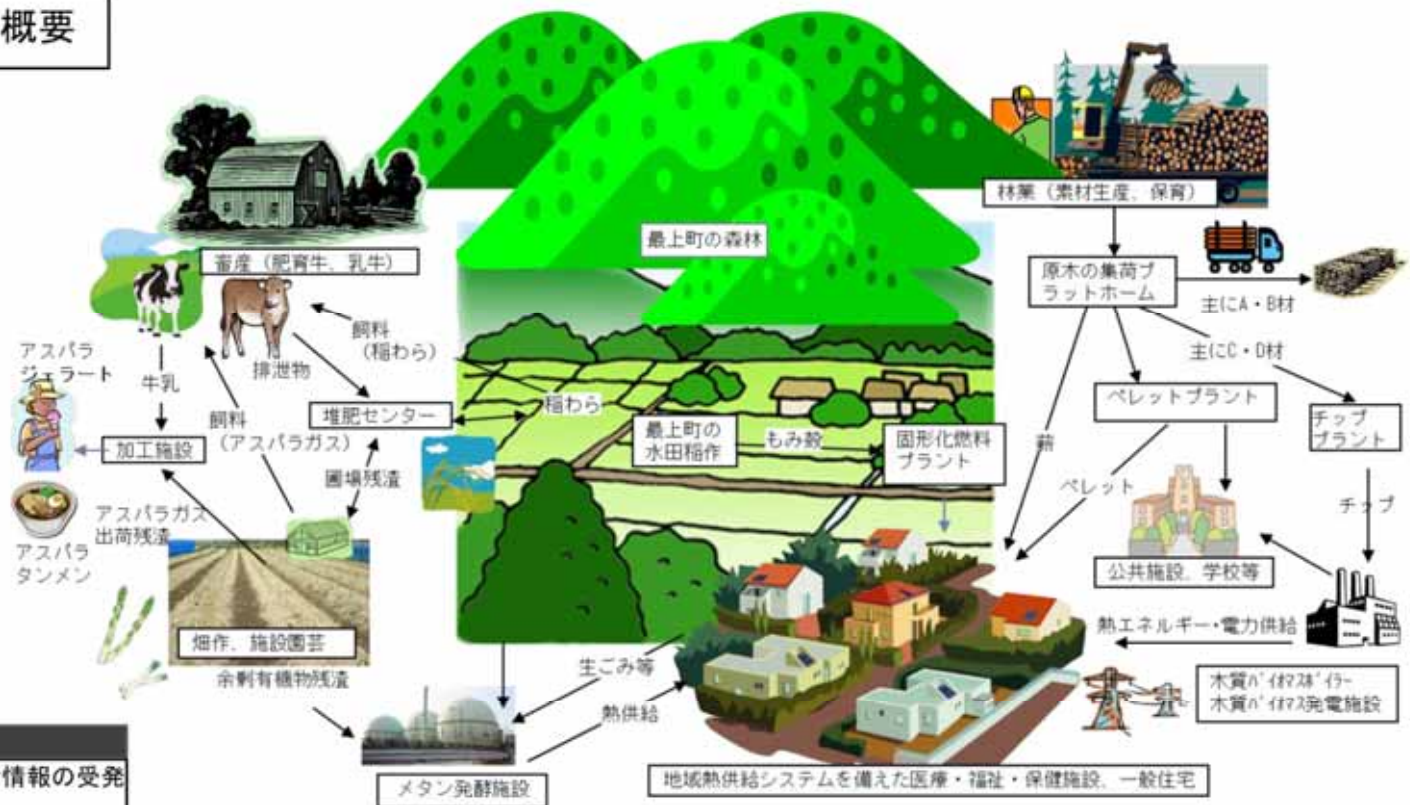
最上町バイオマス産業都市構想の概要

目指す町の将来像

■森林系バイオマスによる医療・福祉・保健施設等への地域熱供給システムの更なる充実と関連産業が発展し、活気づく町

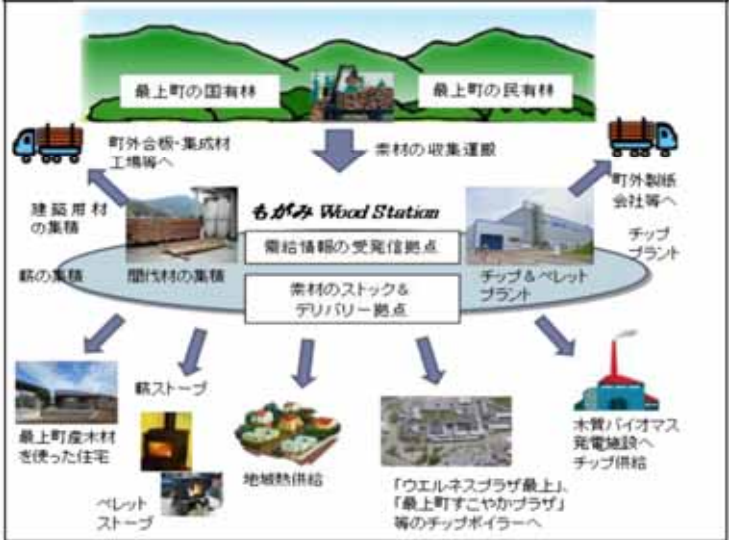
■多様なバイオマス利用を契機として、関連産業が連携し、地域特性を活かした新しい産業が生まれる町

■環境にやさしく、安心・安全で若者の定住を支える未来環境創造都市



■森林系バイオマス高度利用プロジェクト

- 森林系バイオマスの総合的なカスケード利用と需給情報の受信のための拠点の整備 (もがみ Wood Station)
- 森林系バイオマス及び農業系バイオマスを利用した地域熱供給システムの増設
- 森林系バイオマスを利用した木質バイオマス発電施設の整備



■農業系バイオマスの循環利用プロジェクト

- もみ殻を再利用した燃料用固形燃料製造の事業化
- 良質堆肥を製造する堆肥センターの整備 (もがみ Agri Station)
- メタン発酵によるエネルギー利用システムの構築



■廃棄物系バイオマス循環利用プロジェクト

- 廃棄物系バイオマスのエネルギー転換における事業化 (もがみ Bio Station)

